

受講料無料

令和4年度 みんなで考える平和セミナー

女性たちの シベリア抑留



講演概要

1945年、ソ連は日ソ中立条約が有効であったにも拘らず満洲に侵攻し、さらに対日参戦の日にポツダム宣言に加入したにも拘らず宣言の「武装解除後の家庭復帰」条項に違反し、日本人をソ連・モンゴルに移送し強制労働をさせ、約6万人の日本人が戦後であるにも拘らず死亡した。講演者はロシアの文書館で抑留者の移動文書を調査中に、抑留者の中に女性が含まれていることを発見することができた。少女だった。以来抑留者に取材をし、日露の公文書館史料で証言を裏付け、ロシア現地の抑留所跡を調査し、目撃者に取材を続けてきた。極寒、飢え、強制労働の苛酷な環境の中、女性たちはどのように抑留を生きぬいたのであろうか。探してみたい。



2022年8月10日【水】

14:00~15:30
13:30開場(先着90名)

申込不要 芦屋市民センター 401室

講師 生田美智子

北野高校卒業後、大阪外国語大学・同大学院を卒業。1975~76年モスクワ大学で学ぶ。博士(大阪大学)。大阪外国語大学教授、大阪大学教授を経て、現在は大阪大学名誉教授。ロシアや満洲と日本との関係を主として扱う雑誌『セーヴェル』を主宰。近年の単書・編著に『満洲の中のロシア』(成文社、2012年)、『女たちの満洲』(大阪大学出版会、2015年)、主要分担執筆に『満洲におけるロシア人の社会と生活』(ミネルヴァ書房、2013年)、『日ロ関係史』(東京大学出版会、2015年)、最近の単著に『満洲からシベリア抑留へ—女性たちの日ソ戦争』(2022年、人文書院)など。



※新型コロナウイルス感染症予防対策のため、入場者名簿を作成いたします。下記の参加申込書にご記入の上、当日会場にてご提出ください。お持ちでない場合、会場にてご記入ください。この名簿は必要に応じて保健所等の公的機関へ提供いたします。
※講義中もマスク着用のご協力をお願いいたします。ご入場の際には手指の消毒、検温にご協力ください。

きりとりせん

みんなで考える平和セミナー 参加申込書

事前申込は不要です。先着順でご入場いただけますので、こちらにご記入の上、直接会場にご持参ください。

お名前

電話番号

【問い合わせ】芦屋市立公民館(業平町8-24) TEL:0797-35-0700 【主催】芦屋市教育委員会・芦屋市立公民館